

令和2年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学

代表学生：比嘉彩里

指導教員：二川香里 准教授

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>砺波市における三世代同居が子育てにもたらす効果および影響に関する研究 (B 部門)</p>
<p>研究概要</p>	<p>本研究は、砺波市における子育て世代の家族形態と母親の精神的健康および育児におけるストレスや育児負担感との関連を明らかにすることを目的としている。</p>
<p>これまでの活動状況と今後の活動予定 (300 字程度)</p>	<p>まず先行研究から、三世代同居の規定要因と子どもを育てる母親にもたらす三世代同居の効果について文献検討した。その結果、育児中の母親に対しての効果は十分に検証されていなかったことから、三世代同居と母親の育児における心理をテーマとして研究計画書を作成した。また砺波市役所を訪問し、砺波市の三世代同居に関する現況と施策についてお話を伺った。未就学児をもつ母親を対象としたアンケート調査を計画しているが、開始にあたっては、富山大学臨床・疫学研究に関する倫理審査委員会を受審し承認を得た。</p> <p>砺波市内の各保育所・幼稚園等を訪問し、研究協力および母親へのアンケート用紙配布を依頼した。今後は、10 月末にアンケートを回収し、速やかにデータを分析、砺波市における三世代同居の実態や母親の育児におけるストレス等との関連を明らかにする予定である。その結果から、砺波市における三世代同居推進事業や子育て支援の課題について考察したい。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<p>計画の遂行はやや遅れているが、内容の変更はない。</p>

調査用紙の作成



砺波市内の保育施設にて、研究協力の依頼説明

